



審議等の概要

質疑

①使用している管種はどのようなものがあるのか。また、管渠の補修工事の手法はどのようなものがあるのか。

《回答》コンクリート管、陶管、塩ビ管、一部圧送管等には鋼管を使用しています。補修工事の方法については、道路を掘削せず管の中にまた新たな管を築造するような手法もあり、工法検討をした中で金額の算出をしています。

②今後老朽化対策をやっていくと老朽化率はどのくらい改善するのか。

《回答》次回審議会でも回答。

③県内近隣市の中に、藤沢市より法適用年度が早いのに、藤沢市より老朽化率が低く、改善率が高い市があるがなぜか。

《回答》早くから老朽化対策に着手していることが考えられます。

④浄化センター費で、事業費の減の理由に「焼却灰保管倉庫の賃貸借期間満了」とあるがこの意味するところは何か。

《回答》計画では、平成29年度までに、倉庫内に保管している焼却灰の処分が終わる予定となっており、賃貸借期間が満了となります。

(3) 下水道使用料収益および汚水量の推移

汚水量の推移から、平成29年度から31年度までの3カ年の下水道使用料の収入見込みについて説明。税抜き下水道使用料収入は、減少傾向にあることを説明。

(4) 下水道事業費（汚水・雨水）の負担区分

独立採算性を考慮した健全経営を目指した場合、現在の資本費算入率95%を100%とした場合、使用料見直し対象期間に下水道使用料で賄う額が合計約2億3,000万円になることを説明。

質疑

①汚水処理費にあてる下水道使用料が約52億と記載があり、もしこの部分が1億減ると、減った部分はどのように配分するのか。

《回答》配分は決まっているため下水道使用料収入が減った場合、下水道事業全体での赤字になります。

②赤字になると建設改良費にまで影響が及ぶのか。

《回答》直接は影響しません。ただし、間接的という意味で、利益が出た場合は減債積立金に積み立てることにより、資金的支出の財源とすることができます。

意見

①下水道使用料をあげなかった場合、市民生活にとって何が困るのか、生活にどう響くのか具体的に説明してほしい。

《回答》次回審議会でも説明。

(5) スケジュール

今後の下水道運営審議会の日程を用いて、今後予定する審議内容を説明。

その他